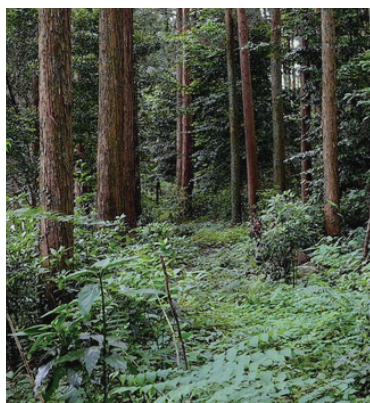




大藪さんが釣って、自らさばいてきた刺身。見事な腕前です



小さな森の中にはいろんな野草が育っています



左から大藪さん、有馬伸明さん、真田さん、松原真二さん、林田健治さん、岡元さん、福村祝一さん



森の中ではシイタケも栽培されています

刺身や、手
羽先の燻製
焼きなど、
アウトドア
ならではの
料理を囲み
ながら、楽
しい宴会が
始まってい

ある土曜日のお昼に小さな森にお邪魔すると、大藪さんと仲間の皆さんが集まっていました。月に1〜2回ほどここで、おいしいものと酒を酌み交わすそうです。その日は、釣り好きの大藪さんが釣ってきた魚の

この日の草刈りには、2町内担当の労をねぎらいにやって来た1町内区長の大藪和夫さんの顔もありました。大藪さんの場合は、山遊び訪問と相成りました。大藪さんの友人の真田周作さんが町内に所有する、小さな森が仲間たちの山遊びの舞台。「真田さんの小さな森に来ると、子どもの頃にいろんな工夫をしながら遊んだことを思い出します。これまで十分に働いてきたし、これからの人生をこんな風に楽しむのもまた一興だな、と思っています。」と大藪さんは言います。

大人のトムソーヤたち

ました。もちろん、ハンドルキーパーも控えています。

「ここに集う仲間の中には料理人や素潜りの達人もいます。それにだてに年を取ってないから、自然相手でもいろんな知恵を巡らせて遊ぶ、最高ですよ」と話す真田さん。時々ここで、コンサートも行われるそうです。「バイオリン奏者の人が参加してくれたり、自分たちも楽器を演奏して歌ったり、ここだと騒音の迷惑もかけないしね」と岡元正樹さんも上機嫌で、少年に戻ったような無邪気な顔になります。まさに、大人になったトムソーヤたち。

森の中は、杉の落ち葉が足元のクッションになって歩きやすく、風が通るためかヤブ蚊がいません。数カ所でシイタケも栽培されていました。「春はタケノコ掘り、秋はシイタケの収穫と、ここでの時間が楽しくてしょうがありません」と大藪さんはうれしそうにほほ笑みました。

手先が器用な石原さん

住宅街を歩いていたら、個性的な表札を見つけました。竹で作られた犬の腹部に「イシハラ」と名字が記されています。ユニークなアイデアを眺めさせてもらっていると、庭か



ハナちゃん。
今年で15歳です



竹で作られたかわいい犬の置物



石原さんの手作りによる竹のオブジェの表札

